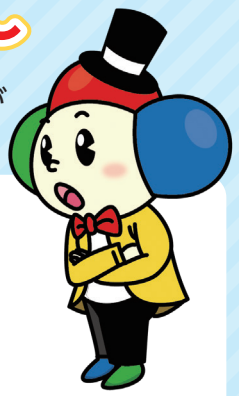
No.354　令和７年（2025）６月15日　京都市下京区役所地域力推進室　〒600-8588　下京区西洞院通塩小路上る東塩小路町608-8　☎371-7101　FAX351-4439　※京都市の市外局番は 075　京都市印刷物第070087号

6/15 2025 下京のひびき

市民しんぶん下京区版　下京区役所

今日からはじめる私の防災　～水害対策編～



梅雨や台風による大雨で、６月から10月は河川や水路の水位が上がりやすい時期です。また、集中豪雨により、道路の側溝から水があふれるなど、浸水被害が発生する場合も。いま一度、避難行動や危険箇所を確認しておきましょう。

❶ 河川の氾濫から身を守る！　避難行動の確認

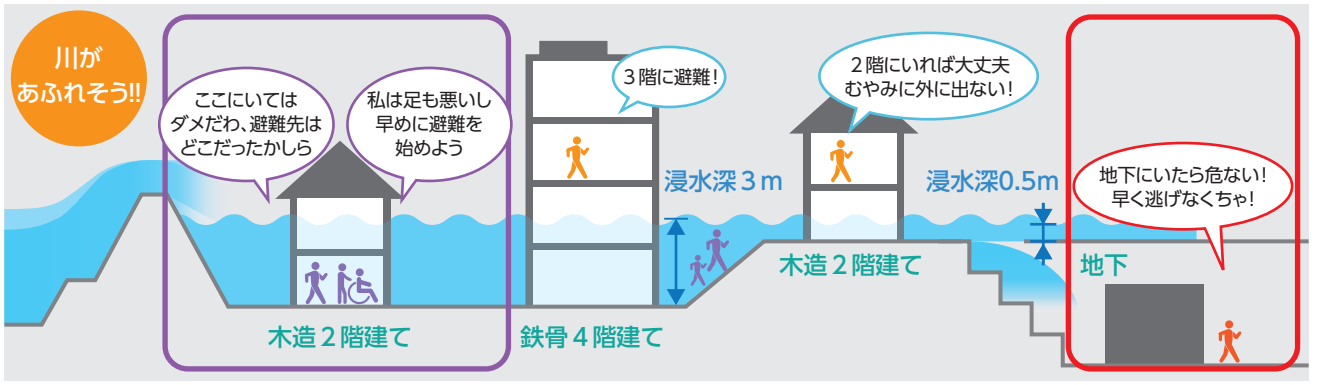
想定される浸水の深さ、お住まいの場所や建物の高さによって、避難行動には違いがあります。正しい避難行動を知りましょう！

早めに避難しよう！

川が氾濫する前に、近くの高い建物や指定緊急避難場所（水害）へ避難※を

地下には逃げ込まない！

少しの浸水でも扉が開かなくなったり、流れ込む水で階段が上れなくなります。



◀指定避難所・指定緊急避難場所一覧

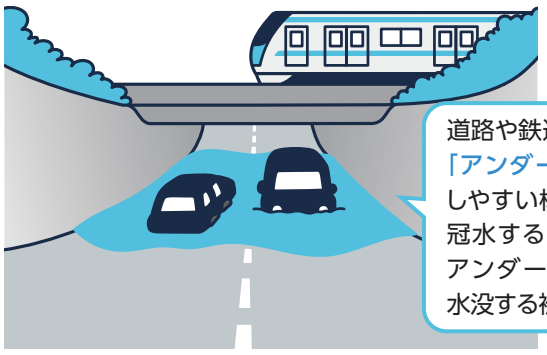
◀京都市水害ハザードマップ

お住まいの地域の想定される浸水の深さや洪水で家が倒壊する恐れがあるエリアを確認しておきましょう！

※小学校などの「指定緊急避難場所」へ避難する場合は、京都市からの「高齢者等避難」や「避難指示」発令後に避難してください。
水害から身を守る場所は「指定緊急避難場所」だけではありません。日頃から、お住まいの近くの高い建物やお知り合いの家など、避難できる場所を把握しておきましょう。

❷ 都市型水害から身を守る！　危険な場所の確認

下京区でも、近年、集中豪雨などによる雨水の排水が追い付かず、側溝や下水道があふれたり、宅地からの排水ができなくなってあふれる「内水氾濫」も発生しています。



道路や鉄道の下をくぐり抜ける道「アンダーパス」は、雨水が集中しやすい構造のため、大雨時には冠水することも。昨年、冠水したアンダーパスに車両が進入し、水没する被害もありました。

▲冠水危険箇所はこちら（国土交通省HP）

短時間でも下水の流下能力を超えた大雨が降ることにより、一時的に道路が冠水することがあります。

昨年度、下京区内で発生した冠水の様子。自動販売機の下部が水で見えません。

冠水している場所を歩くのは危険です！

冠水している場所を歩く時は、棒などでマンホールや側溝などを確認し、注意して移動しましょう。
水深が膝を越えると、歩行が困難になります。

目安はこちら

大人男性 … 水位70cm
大人女性 … 水位50cm
子ども … 水位20cm

❸ 水害から身を守る！　普段からできる自宅周りの取り組み

①道路や雨水ますの清掃にご協力ください！

清掃前　清掃後

雨水ますにごみや落ち葉などがたまると、目詰まりを起こして排水できず、道路冠水につながります。

②道路上にカーステップ等を設置しないでください！

雨水ますへの水の流入が妨げられ、冠水の原因に！
道路には植木鉢なども置かないでください！

問　地域力推進室総務・防災担当（☎371-7164）